

岩手・宮城県際ネットワーク

－平成24年12月1日発行－（担当公所：岩手県沿岸広域振興局）（第127号）

●編集・発行 地域づくり団体ネットワーク岩手・宮城県際交流会事務局

岩手県 県南広域振興局経営企画部 TEL 0197-22-2812 <http://www.pref.iwate.jp/index.rbz>

岩手県 沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター TEL 0192-27-9911 <http://www.pref.iwate.jp/index.rbz>

宮城県 北部地方振興事務所栗原地域事務所商工・振興班 TEL 0228-22-2195 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

宮城県 東部地方振興事務所登米地域事務所商工・振興班 TEL 0220-22-6123 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/11.html>

宮城県 気仙沼地方振興事務所 商工・振興班 TEL 0226-24-2593 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/12.html>

圏域情報

◆◆◆◆ 岩手県県南広域振興局 ◆◆◆◆ 岩手・宮城県際国際リニアコライダー 計画セミナーを開催しました

11月20日に宮城県栗原市で、東北の産学官が岩手県南部の北上山地への誘致を目指している素粒子物理の超大型加速器研究施設「国際リニアコライダー（ILC）」計画のセミナーを開催しました。

岩手、宮城の両県が主催し、宮城県北地域で初めてILCのセミナーを開催したもので、宮城県北地域を中心に、市町村や企業の関係者、住民ら約70人が、誘致の意義や波及効果について学びました。

講演では、岩手県政策地域部政策推進室の大平尚首席ILC政策監が計画について説明し、ILCが北上山地に建設された場合、将来計画ではトンネル南端は気仙沼にも達すること、岩手県南・宮城県北への関連産業誘致が見込まれることを述べました。

また、産学官で組織する東北ILC推進協議会からは、事務局を務める東北経済連合会の有原常裕産業経済グループ部長が、7月に

協議会で策定した「ILCを核とした東北の将来ビジョン」について講演しました。

ILCの周辺には国際科学技術研究圏域が形成され、運用段階では研究者・職員等により約1万人の人口増が見込まれる旨等が説明されました。



ILC計画は現在、国が認めたプロジェクトとはなっていません。その実現のために、両県地元の理解と支援をお願いします。

■岩手県のILC計画推進ホームページ

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=38648>

■問い合わせ先

岩手県県南広域振興局経営企画部
電話0197-22-2812（内線）232

◆◆◆◆ 岩手県沿岸広域振興局経営企画部
 大船渡地域振興センター ◆◆◆◆
「旅フェア日本 2012」に9万人が来場!
「いわて・三陸ブース」賑わう!

国内旅行の大規模な博覧会「旅フェア日本 2012」（主催・日本観光振興協会）が、11月9日から3日間、東京・池袋のサンシャインシティを主会場に開かれ、期間中9万500人が来場しました。

昨年は東日本大震災の影響で中止となり、2年ぶりの開催となった今年は、約130の企業・団体が出展し、来場者に旅の最新情報や体験を通じた旅の楽しさを提供しました。



会場は「食」など旅のテーマごとに6エリアが設定され、被災地を支援する「東北観光エリア」には『いわて・三陸ブース』をはじめ、福島県や秋田県、東北観光推進機構などが出展し、来場者に震災後の“いま”を伝えるとともに、東北への旅行を呼びかけました。



『いわて・三陸ブース』では、“いわて三陸の今を『見る』『知る』『体験する』”をコンセプトとして、様々な体験プログラムを用意し、大船渡市の恋し浜ホタテ絵馬づくり体験や久慈市の琥珀の発掘体験、なりきり海女体験などが人気を集めたほか、大船渡つばき娘などによる三陸紹介トークやクイズ大会で会場を盛り上げました。

また、ブース内では被災地の今を伝えるパネルの掲示や被災地を巡るツアーなどを紹介し、来場者からは、現地へのアクセスや宿泊施設の状況など質問が多く寄せられ、被災地への関心と旅行ニーズの高さを感じました。



■問い合わせ先

岩手県沿岸広域振興局経営企画部
 大船渡地域振興センター
 電話 0192-27-9911

◆◆◆◆ 岩手県沿岸広域振興局経営企画部
 大船渡地域振興センター ◆◆◆◆
「食べて復興応援
「三陸の食を楽しむ夕べ」開催!

東日本大震災から1年8ヶ月が経過して、被災した三陸地域の企業や生産者は復興に向けて着実に事業再開への歩みを進めています。

こうしたなかで、被災地の現状と復興状況を情報発信し、販路拡大を図るとともに、岩手県沿岸と内陸の企業間連携を強化し、被災地の一日も早い復興につなげていくため、11



気仙地域からは「三陸の食卓をおすそわけ実行委員会」を構成する事業者のうち5社が、“三陸復興”を旗印に掲げて、平成22年12月の「おすそわけの市」の開催から2年ぶりに出展し、来場者に気仙地域の“逸品”をPRしました。

また、会場内では、浜の女性たちが復興の願いをこめて漁網と麻紐を使って手作りする、「浜のミサガ環(たまき)」の実演販売が行われたほか、復興支援商品の販売が行われました。



■ 問い合わせ先

岩手県沿岸広域振興局経営企画部
大船渡地域振興センター
電話 0192-27-9911

◆◆◆◆ 宮城県東部地方振興事務所

登米地域事務所 ◆◆◆◆

**油麩井の会がB-1グランプリ in 北九州に
出場！！**

平成24年10月19日・20日に福岡県北九州市で開催された、第7回B級ご当地グルメの祭典「B-1グランプリ in 北九州」に登米市の油麩井の会（会長：海老名康和さん）が出場しました。今回で4年連続の出場となり、また、九州初上陸ということで、多くの方々に“油麩井”を十分味わってもらい、認知していただくため、皆が力を合わせて頑張りました。



今回は、新たに“油麩井3-Dパネル”や“登米市のPR広告”“油麩井のタブロイド紙発行”などの企画を満載して臨みました。

当日は、登米市の布施市長さんも駆け付け、油麩井の販売や宮城県登米市の積極的なPRを行っていました。



油麩井の会の出場によって、宮城県登米市のPRをすることができ、今後もさらに地域を盛り上げていこうという機運が高まりました。

登米市にお越しの際には、油麩井をぜひ御賞味ください。

■問い合わせ先

油麩井の会事務局（海老名康和）

電話 0220-52-2016

飲食店マップ等の詳細情報は、「油麩井の会ホームページ<http://www.aburafudon.com/>まで。（震災後、提供していないお店もありますので、事前に御確認ください。）

◇◆◆◇ 宮城県東部地方振興事務所

登米地域事務所 ◇◆◆◇

油麩井バーガーが発売されました！

登米市登米町において、登米の郷土食材「油麩」を活用した新商品「油麩井バーガー」が9月1日より発売されました。

この商品は、ご当地グルメ「油麩井」で町おこしをしている「油麩井の会」の皆さんと同町の喫茶店「四季の茶屋なごみ」の御店主が協力して開発したものです。

中身は油麩と玉ねぎをタレで煮込み、型に入れ卵でとじてあります。さらに、レタスや紅しょうがを加え、登米産の米粉を使ったバンズで挟んであり、もちもちの食感と油麩のジューシーさを味わうことができます。

肉の代わりに油麩を使用しているため、ヘルシーで気軽に「油麩井」の味を楽しむことができます。お近くにお越しの際は、ぜひ御賞味ください。



■問い合わせ先

四季の茶屋なごみ

電話 0220-52-2388

◇◆◆◇ 宮城県気仙沼

地方振興事務所 ◇◆◆◇

キラキラいくら丼販売中です！！

南三陸町内の飲食店では震災以前、世界三大漁場と称される三陸産の海産物など地元食材にこだわった「南三陸キラキラ丼」を提供し、1年間に4万5000食を売り上げ、ヒット商品となっていました。

その「南三陸キラキラ丼」が復活し、平成24年11月1日から平成25年2月28日の間は第4弾として、「キラキラいくら丼」を提供しています。

「キラキラいくら丼」には南三陸町の誇るいくらがたっぷり盛りつけられているほか、各店が個性豊かな見た目・違った味で調理するため、お店ごとに違った「キラキラいくら丼」を楽しむことができます。

「南三陸さんさん商店街」で4店、被災を免れたり店舗を移転して再開した5店の計9店での提供となります。

お近くにお越しの際は、ぜひ御賞味ください。



■問い合わせ先

南三陸町観光協会

電話 0226-47-2550

イベント情報など

◆◆◆◆ 岩手県南広域振興局 ◆◆◆◆ 骨寺村莊園 中尊寺米納め

国の重要文化的景観に選定され、中世以来の農村景観が現在も残っている希有な『骨寺村莊園遺跡』を有する一関市の本寺地区では、歴史的に深い関わりのある中尊寺とのつながりのもと、地域を挙げて『地域づくり』に取り組んでいます。

この歴史的なつながりを密にし、藤原清衡公が理想郷として目指した『浄土』の心を育み、『地域づくり』の一方策として『骨寺村莊園 中尊寺米納め』を開催するものです。

『中尊寺米納め』は、12世紀頃から骨寺村で収穫された米を中尊寺に奉納していたならわしからくる行事で、戦後にとだえていたこの行事を数年前に復活させ、今年で6回目になります。



■日時

平成 24 年 12 月 16 日 (日)

■スケジュール (予定)

9:00 駒形根神社 出発式
(一関市巖美町駒形地内)
～ 徒歩及びバスで平泉町へ移動
12:00 中尊寺経蔵 到着・奉納

■問い合わせ先

本寺地区地域づくり推進協議会
電話 0191-33-5022
(骨寺村莊園交流館内)

◆◆◆◆ 岩手県南広域振興局 ◆◆◆◆ 磐井清水若水送り

毎年1月1日の未明から古式さながらの白丁(白装束)をまとった一行が、一関市東山町から平泉中尊寺までの約20キロの道のりを、若水桶を地につけることなく歩いて若水を届けます。

一関市東山町松川字卯入道平(うにゅうどうひら)に岩窟より清水がわき出る「磐井清水」。『平泉雑記』に「秀衡の若水に汲み用いたる石泉なり。平泉より東南方にて、奥道(6町で1里)20里にあり。泉の傍らに民家あり。磐井圃地という」と伝えられています。



■日時

平成 25 年 1 月 1 日 (火) 未明

■スケジュール

1:10 平泉から使者が磐井清水到着
1:25 若水くみの儀
1:40 磐井清水出発
6:00 柳之御所
6:30 中尊寺本堂前で若水進上の儀

■問い合わせ先

磐井清水若水送り実行委員会
水城 稔委員長 0191-48-2753
小原 一郎さん 0191-48-2727
佐藤 育郎さん 0191-48-2443

◆◆◆◆ 岩手県南広域振興局 ◆◆◆◆ 毛越寺常行堂二十日夜祭

正月 14 日から 20 日まで毛越寺では、新春

の祈祷である常行堂の摩多羅神(またらじん)祭が執り行われます。特に結願の20日は「二十日夜祭」と称され、献膳式に引き続き古伝の常行三昧供の修法が行われます。

さらに厄年の老若男女がたいまつを先頭に常行堂まで練り歩き、宝前に大根や白菜などの供物をささげて、無病息災、家内安全を祈願する献膳上り行列が行われます。

最後に、堂内では法楽として「延年の舞」が夜半まで奉納されます。「延年の舞」は、唐拍子・田楽・花折・若女・老女など、平安時代の数多くの舞を昔のままの姿で今に伝えています。



■日時

平成25年1月20日(日)

■問い合わせ先

毛越寺

電話 0191-46-2331

◇◆◆◇ 岩手県沿岸広域振興局経営企画部

大船渡地域振興センター ◇◆◆◇

「三陸・けせん観光物産フェア」

来年1月に開催!

気仙地方の特産品を販売する「三陸・けせん観光物産フェア」が平成25年1月17日(木)から19日(土)までの3日間、東京・銀座のいわて銀河プラザで開催されます。

このイベントは、年1回(例年1月)開催してきましたが、今年は情報発信と復興PRのため、年2回開催することとし、今回は6月に続いて2回目の開催となります。

体験コーナーでは、早採りワカメのしゃぶしゃぶの試食を実施するほか、旬の食材を中心とした特産品や復興グッズの販売などを予定しています。ぜひ御来場ください。



■日時

平成25年1月17日(木)～19日(土)
午前10時30分から午後7時まで
(ただし19日は午後4時〔予定〕まで)

■場所

いわて銀河プラザ
(東京都中央区銀座5-15-1 南海東京ビル1F)

■問い合わせ先

三陸・けせん観光協議会

電話 0192-21-1922

◇◆◆◇ 宮城県東部地方振興事務所

登米地域事務所 ◇◆◆◇

日本一はっとフェスティバルが開催されます

平成24年12月2日(日)に登米市迫町の中江中央公園で第9回「日本一はっとフェスティバル」が開催されます。

昨年はっと大賞に輝いた「しお野菜はっと」、「赤豚カレーはっと」、「あずきはっと」をはじめ、定番の「油麩はっと」など、“ホッと”するはっと料理が勢揃いします。できたての美味しい「はっと」の食べ比べはいかがでしょう。また会場では、地場産品の物産販売やステージイベント、お楽しみ抽選会も行われるほか、今年も来場者の割り箸による投票で「はっと大賞」が決定されます。ぜひ、

皆さんでお越しください。



■日時

平成 24 年 12 月 2 日 (日)
午前 10 時～午後 2 時まで

■場所

登米市迫町中江中央公園

■問い合わせ先

「日本一はっつとフェスティバル」実行委員会
事務局(登米市産業経済部商工観光課)
電話 0220-34-2734

◇◆◆◇ 宮城県東部地方振興事務所

登米地域事務所 ◇◆◆◇

石ノ森章太郎ふるさと記念館2012光のページェントが開催されます

登米市中田町の石ノ森章太郎ふるさと記念館で、12月1日(土)から光のページェントが開催されます。

記念館の前庭を会場に、庭木や小川のほとりが約3万5千個の美しいイルミネーションで鮮やかに飾り付けられます。冬空の下、庭一面に広がる幻想的な光の世界を御堪能ください。



■日時

平成 24 年 12 月 1 日 (土)～12 月 31 日 (月)
午後 5 時～午後 9 時

■場所

石ノ森章太郎ふるさと記念館庭園内
(庭園内は入場無料)

■問い合わせ先

石ノ森章太郎ふるさと記念館
電話 0220-35-1099

◇◆◆◇ 宮城県気仙沼

地方振興事務所 ◇◆◆◇

気仙沼・南三陸復興スタンプラリー

気仙沼市及び南三陸町への観光客の誘客と域内流動促進を目的として、「気仙沼・南三陸復興スタンプラリー」を実施しています。

気仙沼・南三陸地域の観光施設や仮設商店街等の9箇所をチェックポイントとしたスタンプラリーです。

スタンプラリーの台紙は各チェックポイント等で配布しておりますので、ぜひ御参加ください。

■スタンプ設置期間

平成 24 年 11 月 10 日 (土) から平成 25 年 2 月 11 日 (月) まで



■応募締切

平成 25 年 2 月 20 日 (水) <当日消印有効>

■景品

抽選で合計 30 名様に気仙沼市または南三陸町の特産品をプレゼント

■応募方法

①スタンプラリー台紙のスタンプ欄（応募はがき）にスタンプを 3 個押してください。（3 個とも別のチェックポイントで押してください。）

②応募はがきにお名前、住所、電話番号を記入し、郵便切手を貼って事務局へ郵送してください。

■問い合わせ先

気仙沼・南三陸復興スタンプラリー事務局
（宮城県気仙沼地方振興事務所 地方振興部内）

電話 0226-24-2593

午前 6 時から正午まで

■対象

小学生以上/一般 先着 30 名

■参加費（朝食代として）

小学生 500 円

大人（中学生以上）600 円

■場所・問い合わせ先

宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

電話 0228-33-2216



◇◆◆◇ 宮城県北部地方振興事務所

栗原地域事務所 ◇◆◆◇

伊豆沼・内沼自然体験講座「伊豆沼・内沼 ガン飛び立ち観察会」

ラムサール条約登録湿地である伊豆沼・内沼は国内有数の渡り鳥の越冬地です。この伊豆沼をねぐらにしているガンが一斉に飛び立つ瞬間を見ることができる観察会が開催されます。

当日は、ガイドの説明を受けながら飛び立ちを観察できます。数万羽のガンが朝日を受けて飛び立っていく光景は、美しく、雄大な自然を感じさせてくれます。

また、飛び立ちを観察した後は、宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター内のレストラン「四季味」でのおいしい朝食が待っています。ぜひ参加してみてください。

■日時

平成 24 年 12 月 23 日 (日)

平成 25 年 1 月 20 日 (日)